

監査結果の公表(その1)

令和3年度 定期監査(その1)を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 風戸 博恭
茂原市監査委員 山田 広宣

◆監査の対象

・総務部

総務課、秘書広報課、職員課、管財課、防災対策課

・企画財政部

企画政策課、財政課、市民税課、資産税課、収税課

・会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会議事務局、監査委員事務局

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

茂原市役所

◆監査の期間

令和3年9月15日から11月29日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

【共通事項】

○全課共通

・新型コロナウイルスへの対応や急速に進む時代の変化等により日常の業務量は増大し、厳しい行政運営を強いられている状況にあるが、事務事業の執行にあたっては、日常の業務に流されることなく、市民目線に立ち、常に市職員としてのあるべき姿を模索しながら、未来志向をもって業務に当たられたい。

・業務量の増大に伴い職員の思考が袋小路に陥りがちになることにより、業務の停滞を招きひいては心の病にいたることも懸念される。迷った時ほど一旦立ち止まり、様々な角度から見つめ直すとともに、一人で抱えることなく、周囲と協力を図りながら状況の打開に努めていただきたい。

・管理職は、常に現状を把握するとともに、職員の働き方にも目を向けながら、業務上の課題を整理し、一体となつて解決に向けていける職場環境の創出に努められたい。

○総務課・職員課・企画政策課・財政課共通

・行財政改革をより一層推進

するため、既存事業についてその効果を検証し、廃止又は縮小も視野に入れ検討することが必要である。幅広い市民要望への対応や行政サービスの向上、職員の業務負担の軽減等様々な角度から検証し適切な判断が必要となることから、全庁的な体制により取り組まれない。また、そのための主体となる担当部署を明確にし、計画的な対応を図られたい。

○市民税課・資産税課共通

・課税業務については、正確性、迅速性が必要となることから、精度の向上及び業務の効率化を常に意識しながら事務改善に努め、業務を遂行されたい。

○総務課

・行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)については、市民に分かりづらいものであることから、DXの推進により、何がどう変わっていくのか、どのような影響があるのか、表現方法なども工夫しながら、分かりやす

い説明に努められたい。

○秘書広報課

・市公式ウェブサイトの運営にあたっては、情報が検索しやすくなるよう留意するとともに、常に最新の情報が得られるよう担当課へ指導された。また、ウェブサイトに掲載する内容の管理に関しては、担当課だけでなく秘書広報課も積極的に関わるとともに、ウェブサイトの管理に係る基準等の策定についても検討されたい。

○職員課

・人事評価制度については、職員のモチベーションや資質向上に繋がることから、適切な対応を図るとともに、課題や改善すべき点を整理し、より良い制度の構築に向けた対応を図られたい。

・女性の管理職への登用に当たっては、数値目標と現状に開きがあることから、女性職員の意見や職場環境などを把握しながら、積極的な対応を図られたい。

○管財課

・用途廃止した公共施設については、適切な財産管理のため企画政策課とともに課題を